

グループスタディⅡ 第2回

基礎1-1 補足

2016.10.6

PHPの基礎を学ぶ

➤ HTML5の基本構造

```
<!DOCTYPE html>
<html>
  <head>
    <title>Sample styled page</title>
    <style>
      body { background: navy; color: yellow; }
    </style>
  </head>
  <body>
    <h1>Sample styled page</h1>
    <p>This page is just a demo.</p>
  </body>
</html>
```

デバッグ

➤ エラーの主な種類

値	定数	説明
1	E_ERROR (integer)	重大な実行時エラー。これは、メモリ確保に関する問題のように復帰できないエラーを示します。スクリプトの実行は中断されます。
2	E_WARNING (integer)	実行時の警告 (致命的なエラーではない)。スクリプトの実行は中断されません。
4	E_PARSE (integer)	コンパイル時のパースエラー。パースエラーはパーサでのみ生成されます。
8	E_NOTICE (integer)	実行時の警告。エラーを発しうる状況に遭遇したことを示す。ただし通常のスクリプト実行の場合にもこの警告を発することがありうる。
2048	E_STRICT (integer)	コードの相互運用性や互換性を維持するために PHP がコードの変更を提案する。

変数と、数値、文字列

➤ var_dump関数

```
void var_dump ( mixed $expression [, mixed $... ] )
```

この関数は、指定した式に関してその型や値を含む構造化された情報を返します。配列の場合、その構造を表示するために各値について再帰的に探索されます。

➤ 文字列リテラル

- 引用符 (')
最も基本的な指定方法。
- 二重引用符 (")
エスケープシーケンスを特殊な文字として解釈。さらに、変数名を展開。
- ヒアドキュメント (<<<)
二重引用符で括られた文字列と全く同様に動作。

日付と時刻

➤ タイムゾーンの設定

```
bool date_default_timezone_set ( string  
$timezone_identifier )
```

日付/時刻関数で 使用されるデフォルトタイムゾーンを設定します。

PHP 5.1.0 以降、タイムゾーンを正しく設定せずに日付/時刻関数をコールすると E_NOTICE が発生するようになりました。

スクリプト内でこの関数を使用してデフォルトタイムゾーンを設定するかわりに、INI 設定 `date.timezone` でデフォルトタイムゾーンを設定することもできます。

➤ サポートされるタイムゾーンの例

```
Asia/Tokyo   Asia/Singapore   Asia/Dubai  
Europe/London   Europe/Paris   Europe/Rome  
America/New_York   America/Mexico_City  
Pacific/Honolulu   Australia/Sydney
```